

第 1 回男女共同参画会議委員意見概要 (R4. 8. 2)

委員名	意 見	次期計画 該当箇所
佐野(崇) 委員	・ 県内民間企業における男性育児休業取得率を次期計画の目標に設定して、目標値を30%としてほしい。	Ⅰ－3
	・ 県以外の他の地方公務員の男性育児休業取得率も30%を目標にしてほしい。	
佐野(健) 委員	・ 個人事業主に対して従業員の育児参加する際の手当や、どうすれば育児参加する時間がとれるのかアドバイスがあればいいと思う。	Ⅰ－3
	・ 女性や若い世代でも専門機械が操作できるよう資格のための講座等をしてほしい。	Ⅰ－1
新居委員	・ 育児休業について、取得の仕方に短期間でもよい等の柔軟性があることを周知してほしい。	Ⅰ－3
	・ チーム育児の取組のように、地域でともに子育てをしていく環境づくりを推進してほしい。	Ⅰ－3
大村委員	・ 男女間の役割分担についての意識改革が必要。男性も介護に携わるのが当たり前となるような社会にしてほしい。	Ⅰ－3 Ⅲ－9
平野委員	・ 男性の子育てを進めるには社会全体の問題として取り上げていく必要がある。	Ⅰ－3
齋藤委員	・ 成果目標について、他の都道府県の状況がわかるような資料があるといい。	
三木委員	・ 男性の育児休業等について取り組んだ企業の成功例を多く取り上げながら推進してほしい。	Ⅰ－3
佐藤委員	・ 改正育児介護休業法や女性活躍推進法等、労働分野でのバックアップを県と連携しながら図っていききたい。	
齒朶山委員	・ 育児や家事は1日でできるものではなく継続しないと身につかないことがあるので、それも含めて啓発していくことが重要。	Ⅰ－3
	・ セクハラや差別事件等、様々な人権問題の相談窓口について、幅広く啓発を行う必要がある。	Ⅰ－1 Ⅲ－12
藤田委員	・ 高齢者に役割を持ってもらうなど、活躍できる施策をしてもらいたい。	Ⅲ－12
	・ 各団体の役員等にもっと女性を入れてほしい。	Ⅰ－1 Ⅲ－11
	・ 成功例を多く示すことで啓発が進むのではないかな。	
大寺委員	・ 次期県計画では、選択的夫婦別姓を推進する方向を盛り込んでほしい。	

委員名	意 見	次期計画 該当箇所
木村委員	・ 男女共同参画について、個人の価値観の変化を徳島県内の風潮として推進いけるような取組を次期計画の中で反映してほしい。	I－3
	・ 男女共同参画を推進する事業について、中高生や大学生など次世代のことも踏まえて検討していくことが必要。	I－1 Ⅲ－12
坂東副会長	・ 病院等の現場で育児休暇や介護休暇の取得を促進するためには代替要員等のサポートが十分にあることが大事。	I－3
阿部会長	・ 男女共同参画の推進については、県がリーダーシップを発揮して、市町村も含めた大きな流れを起こし、それを民間に波及させていくという形を作っていけるよう、計画を実効性のあるものにすることが重要。	